

別紙 3

審査基準及び配点

審査基準 【合計 150 点】	内 容
1. 全体コンセプト 【30 点】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本業務の目的（神戸空港国際化に伴う誘客等）を深く理解し、施策全体に一貫性と調和が図られているか。</li> <li>・ターゲット（台湾・繁体字圏）の特性を的確に捉えた提案内容となっているか。</li> </ul>
2. 認知度向上・利用促進 【25 点】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ベイ・シャトルの利便性が効果的に訴求されているか。利用者の需要を踏まえ、利用機会を最大化させる工夫があるか。</li> <li>・イベント出展計画が具体的であり、ノベルティを含め「乗船」に繋がる魅力的な提案か。</li> </ul>
3. 現地連携 【25 点】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・独自のネットワーク（航空会社、メディア、旅行会社等）や地方都市開拓に向けた細やかな戦略があるか。</li> <li>・次年度以降も持続する仕組みや、ベイ・シャトルを組み込んだ具体的な商品造成支援・販路拡大策があるか。</li> </ul>
4. 繁体字市場の開拓 【10 点】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・繁体字市場の開拓に向けて、それぞれの市場特性やニーズに応じた適切なアプローチが提案されているか。</li> </ul>
5. 運営計画・実績 【35 点】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年間の活動計画が実現可能かつ適切か。</li> <li>・過去に同規模程度の台湾プロモーションの実績があるか。</li> <li>・本業務を遂行するための専任担当者の配置や、迅速かつ柔軟に動ける運営体制となっているか。</li> </ul>
6. 見積額の妥当性 【10 点】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・積算根拠が明確であり、施策の実現に対して効果的かつ効率的な予算配分となっているか。</li> </ul>
7. 地元加算 【15 点】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・神戸市内に本店を有する法人、または準市内企業（支店・支社等）であるか。</li> </ul>